

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部 北方建築総合研究所
mail magazine【建築研究本部かわらばん】VOL. 96 2017/8/10

このメールマガジンは、建築研究本部 北方建築総合研究所が、日頃の調査研究、普及業務などで携わっているニュースを中心に、毎月お送りしているものです。

今月号のトピックス

第96号の内容はこちらです。

■研究紹介

- 「ベイズ理論を用いた小規模町村の住宅ストック予測モデルの構築」
(平成29年～31年度 科研費(若手B))

■9月9日土曜日に、旭川と札幌でイベントがあります！

- きて★みて★はっけん!!ほくそうけん☆公開デー2017
- 道総研セミナー「地震災害への心がまえと防災の意識」

■最近の研究所の動き

- ロシア・エカテリンブルク「イノプロム2017」に出展して
- 構造計算適合性判定センターから

■イベントのご案内

- 9月10日「住まいのリフォームセミナー」で講演します。
(主催：留萌振興局建設指導課)

研究紹介「ベイズ理論を用いた小規模町村の住宅ストック予測モデルの構築」
(平成29年～31年度 科研費(若手B))

建築物はしばしば「生物」に例えられることがあります。それは意匠としての形態の側面であったり、病理と長寿命といったライフサイクルを通じて一生を捉える側面であったりします。建築物に生物としての側面があるならば、あるまとまりで捉えると、そこから見えてくるのはその生態としての側面であり、その増減や分布を統計的に扱うことができるのではないのでしょうか。

住宅の数、質等を対象とした統計調査に総務省「住宅・土地統計調査」がありますが、この調査は抽出調査であり、人口規模が小さい町村のデータを得ることができません。そこで、フィールド調査に基づく個体数推計を行う生態学で多くの研究実績があるベイズ理論を応用し、小規模な町村における住宅ストック数を推計し、都道府県や全国における分布を明らかにする研究に取り組んでいます。

一例として、道内の空き家数を住宅・土地統計調査のデータからベイズ理論によって市町村ごとに推計する試みを行いました。調査データとの比較では、推計誤差は見られますが、北海道全体としての空き家数は精度よく一致しました。本研究の中では今後、空き家に限らず、住宅ストック全体に占める構造、建て方、建設年代別のストック数を全市町村ごとに推計するとともに、将来的な変化予測を行うことに取り組むと考えています。

本研究では、北海道、全国に分布する住宅ストック構成の変化を市町村単位で明らかにしていきます。これにより、様々な住宅施策の方向性を議論することができるようになるものと考えています。

(建築システムG 齋藤)

トピックス

9月9日土曜日に、旭川と札幌でイベントがあります！

■旭川では、「きて★みて★はっけん!!ほくそうけん☆公開デー2017」

建築研究本部では来る9月9日(土)に、多くの方々に研究所を知っていただき、また、科学技術に対する理解を深めてもらうために、一般公開を行います。普段は見られない研究所の施設を一般公開し、体験・工作ブースなど、大人も子どもも楽しみながら、「建築と防災・まちづくり」を学べます。
(参加無料)

日時:平成29年9月9日(土) 10:00~16:00

場所:旭川市緑が丘東1条3丁目

北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所

※チラシと詳しいプログラムをホームページにアップしました。

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/koho/event/170909.html>

多くの皆様のご来場をお待ちしております！

(企画課 立松)

■9月9日札幌では、道総研セミナー「地震災害への心がまえと防災の意識」で講演

9月1日は「防災の日」。この日を含む1週間は防災週間です。自然災害はいつ身近におきるかわかりません。「平成28年熊本地震」では、過去に例をみない震度7の地震が連続して発生するなど、21万棟におよぶ建物が被害を受けており、多くの方々が被災しています。

大規模な地震による住宅などの倒壊から生命や財産を守るため、“住宅の耐震化”の必要性と地震災害が起きたときの心がまえや防災の意識を高めていただく機会として、地震防災についてわかりやすくご説明します。

講師:北方建築総合研究所 構造計算適合性判定センター
構造判定部長 渡邊和之

日時:平成29年9月9日(土) 15:30~16:30

場所:紀伊国屋書店札幌本店 1階 インナーガーデン

※参加無料・事前申込不要です。ぜひご参加ください！

お問合せ先 道総研本部 連携推進部 連携推進グループ

TEL 011-747-2900

(企画課 盛永)

最近の研究所の動き

■ロシア・エカテリンブルク「イノプロム2017」に出展して

去る2017年7月9日~13日にロシア連邦エカテリンブルク市で毎年開催されるロシア最大規模の産業総合博覧会「イノプロム2017」が開かれました。

今年は昨年とほぼ同等の17カ国640社の出展がありました。

日本はイノプロム2017の「パートナー・カントリー」として出展の中心を担い、ジャパン・パビリオンの運営、日本政府ミッションの派遣、ビジネスフォーラム開催、文化紹介等を総合的に展開しました。

北海道は、日本政府ミッションと連携した、北海道の魅力発信、ロシア中央政財界とのパイプづくり等を推進するためブースを設置し、北海道における食

や観光、文化に加え、道内企業の紹介・展示を行いました。

建築研究本部は、北海道における建築の寒冷地技術の高さを示すため、「寒冷地の快適な生活、環境の保全ゾーン」に研究成果として、木造住宅の断熱・気密模型や高断熱窓の断面模型、研究成果紹介のポスター等を展示しました。特に木造断熱・気密模型は、マスコミを含め非常に多くの方々の関心を引いた展示の一つであり、多数の質問に苦慮した一面もあります。来場者との会話は、ロシア語ということもあり、残念ながら全て通訳を介したものでしたが、それでも現地における日本の建築技術に対する興味の大さを肌で感じました。イノプロム2017はプーチン大統領も出席するなど、ロシアも高い関心を示していました。今回の参加・出展は、近くて遠い国のロシアとの地域間交流に向けて一歩を踏み出したものと感じました。

(北方建築総合研究所 田中)

■構造計算適合性判定センターから

□7月の判定業務

受付 10件 (10棟)

結果通知 11件 (16棟)

7月の判定依頼は、共同住宅、工場、保育園が各2件のほか、ホテル、大学、家畜診療所、体育館が各1件でした。6月の受付件数が急増した反動からなのか今月は減少に転じましたが、4月からの月平均の受付件数では前年度までと同一水準となっています。

さて、構造計算を行うに当たって法的な取り扱いを解説した図書として「建築物の構造関係技術基準解説書」がありますが、この解説書でも不明確な項目については質疑に対する回答(Q&A)という形で周知されています。8月1日にこのQ&Aの更新が行われ、質疑・回答が追加されています。新たな見解が示されている内容もありますので、設計に携わる方はご一読いただければと思います。Q&Aは「一般財団法人 建築行政情報センター」ホームページの“建築法令関連情報”のリンクより、ダウンロードすることが出来ます。「一般財団法人 建築行政情報センター」HP：<http://www.icba.or.jp>

(構造判定G 千葉)

イベントご案内

■住まいのリフォームセミナー【留萌振興局 建設指導課】

日時 平成29年9月10日(日) 10:00~14:00

会場 留萌合同庁舎(留萌市住之江町2丁目)

住宅のリフォームに関する講演会や相談会、また、子ども向け体験コーナーとして、“ペーパークラフト作り”や“かんな掛け体験”など、大人から子どもまで楽しむことができる企画をご用意しています。講演会は建築研究本部の廣田が担当します。

なお、当日は西蝦夷るもいを満喫できるイベント「よりみちの駅フェスタ2017」が同じ会場で開催されます。

<http://www.rumoi.pref.hokkaido.lg.jp/ts/tss/yorimichi/top.htm>

- ・講演会 12:30~13:10(予定)
「快適に住まい続けるために~住まいの疑問に答えます~」
- ・講師 建築研究本部企画調整部企画課長 廣田誠一
- ・場所 留萌合同庁舎1階ホール

(企画課 立松)

=====
管理者からのお知らせ
=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。
登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。
メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_n

変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

発行：（地独）北海道立総合研究機構 建築研究本部

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/index.html>